

平成25年平均

平成22年基準

松江市消費者物価指数

総合指数 100.5 | **前年比 +0.4%**

(平成22年 = 100)

1 概況

松江市は0.4%の上昇 (総合指数の前年比)

(1)平成25年平均の松江市消費者物価指数は、平成22年を100とした総合指数で100.5となり、前年比0.4%の上昇となった。

(2)生鮮食品を除く総合指数は100.7となり、前年比0.5%の上昇となった。

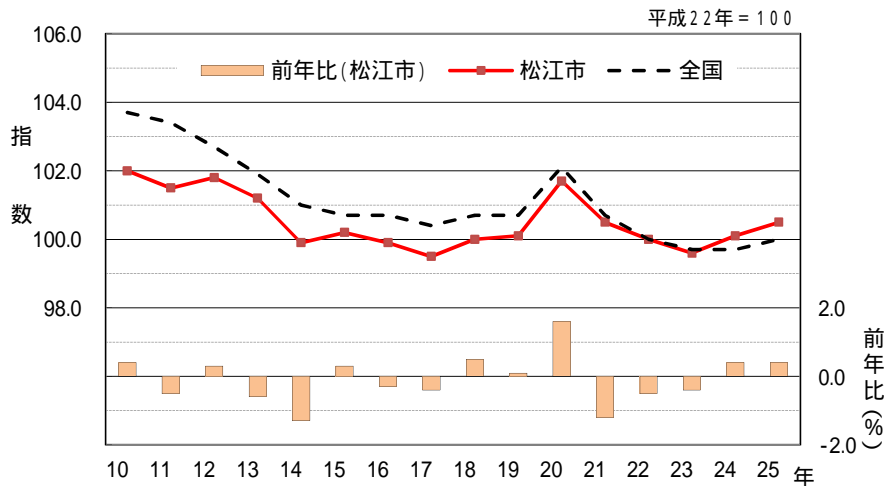
なお、全国の総合指数は100.0となり、前年比0.4%の上昇となった。

また、全国の生鮮食品を除く総合指数は100.1となり、前年比0.4%の上昇となった。

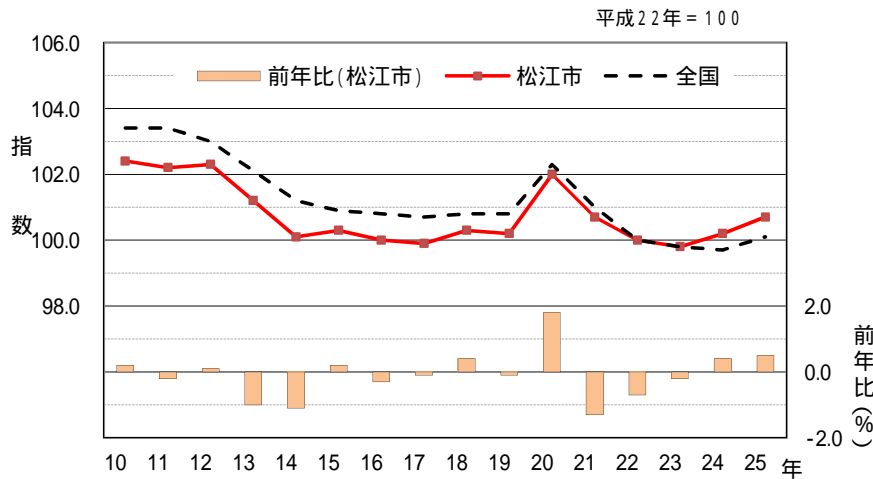
全国は0.4%の上昇 (総合指数の前年比)

2 指数の動向

(1)総合



(2)生鮮食品を除く総合



島根県政策企画局統計調査課

(生活消費グループ TEL 0852-22-5072)

島根県統計調査課ホームページ <http://www.pref.shimane.lg.jp/toukei/>

松江市消費者物価指数は、総務省統計局『小売物価統計調査』の調査票情報を独自集計したものである。



3 10大費目別対前年比及び寄与度

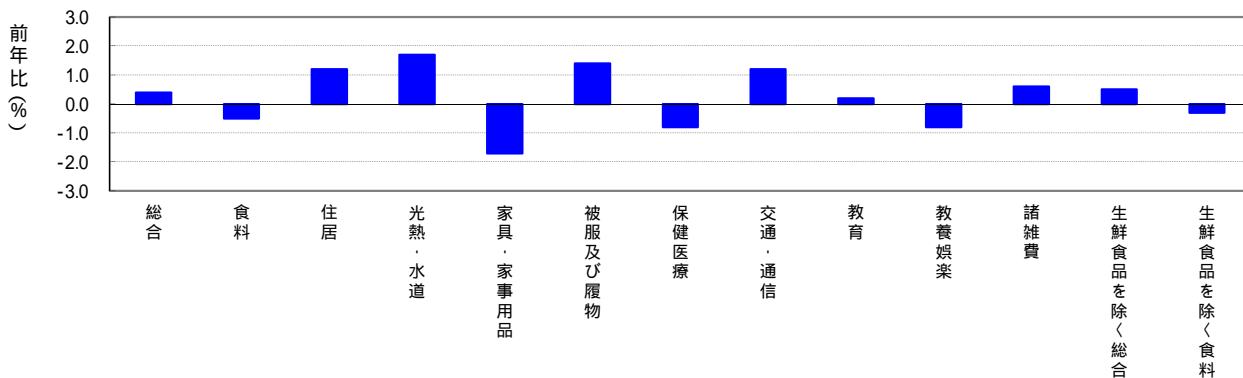
(松江市)

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合	生鮮食品を除く食料
ウエイト	10000	2583	2036	839	358	431	357	1560	240	1001	596	9558	2141
指数	100.5	99.1	101.6	108.2	92.4	104.2	97.3	103.3	96.2	93.2	101.9	100.7	99.8
前年比(%)	0.4	0.5	1.2	1.7	1.7	1.4	0.8	1.2	0.2	0.8	0.6	0.5	0.3
* 寄与度		0.12	0.24	0.15	0.06	0.06	0.03	0.20	0.00	0.08	0.04	0.47	0.06

(注1)ウエイトとは、それぞれの支出金額の家計費全体に占める割合です。したがって、総合指数への影響はウエイトの数値に比例します。

(注2)寄与度とは、物価全体の上昇(下落)に対して各項目がどれだけ影響したかを表す数字です。

(注3)変化率及び寄与度の計算は、端数処理前の指数値を用いているため、公表された指数値で計算した場合と一致しない場合があります。



平成25年中の指数の主な動きについて(松江市)

<上昇>

- ・住居が家賃の影響で上昇
- ・交通・通信が自動車等関係費の影響で上昇
- ・光熱・水道が電気代などの影響で上昇

<下落>

- ・食料が生鮮野菜、肉類などの影響で下落
- ・教養娯楽が教養娯楽用耐久財などの影響で下落
- ・家具・家事用品が家庭用耐久財などの影響で下落

(全国)

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合	生鮮食品を除く食料
ウエイト	10000	2525	2122	704	345	405	428	1421	334	1145	569	9604	2130
指数	100.0	99.6	99.1	112.3	89.7	100.1	98.0	102.9	98.8	93.6	104.8	100.1	99.6
前年比(%)	0.4	0.1	0.4	4.6	2.2	0.3	0.6	1.4	0.5	1.0	1.2	0.4	0.1
* 寄与度		0.04	0.09	0.35	0.07	0.01	0.02	0.20	0.02	0.10	0.07	0.35	0.03

*【寄与度の計算】

寄与度とは、ある項目の指数の変動が、総合指数の変動にどの程度の影響を与えるかを示したものであり、計算式は次のとおりです。

$$A\text{項目の寄与度} = \frac{\text{当期の}A\text{項目の指数} - \text{前期の}A\text{項目の指数}}{\text{前期の総合指数}} \times \frac{A\text{項目のウエイト}}{\text{総合のウエイト}} \times 100$$

注意: 寄与度の計算は、H22基準指数から端数処理前の指数値を用いて計算されているため、公表された指数値で計算した場合と一致しない場合があります。

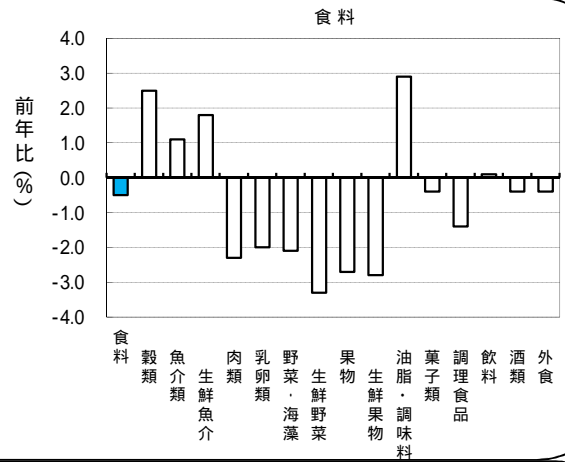
4 中分類指数の動向(対前年比及び寄与度)

(1)食料は99.1となり、前年に比べて0.5%の下落

(中分類)	対前年比(寄与度)
生鮮野菜	3.3%(0.06)
肉類	2.3%(0.05)

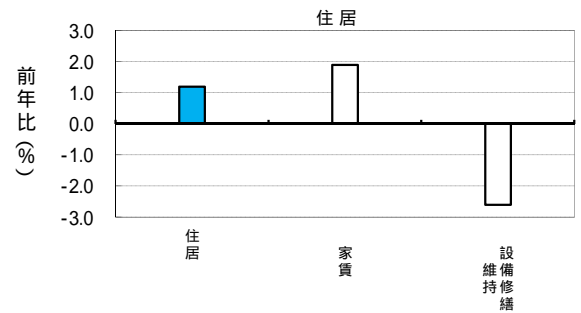
(価格の変動した主な品目)

生鮮野菜:トマト、たまねぎなどの値下がり
肉類:ハムなどの値下がり



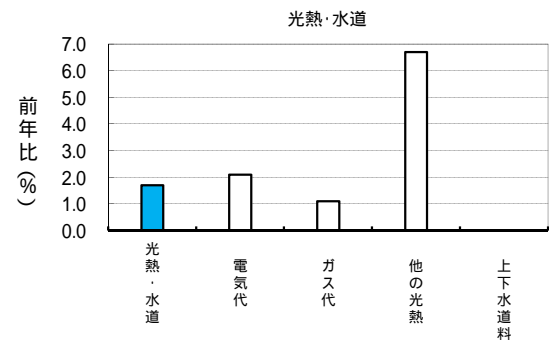
(2)住居は101.6となり、前年に比べて1.2%の上昇

(中分類)	対前年比(寄与度)
家賃	+1.9%(+0.32)



(3)光熱・水道は108.2となり、前年に比べて1.7%の上昇

(中分類)	対前年比(寄与度)
電気代	+2.1%(+0.09)
他の光熱	+6.7%(+0.04)
ガス代	+1.1%(+0.02)

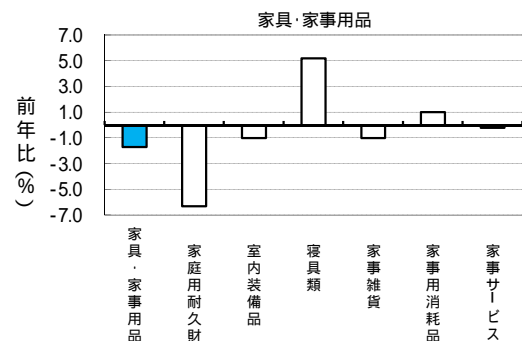


(4)家具・家事用品は92.4となり、前年に比べて1.7%の下落

(中分類)	対前年比(寄与度)
家庭用耐久財	6.3%(0.07)

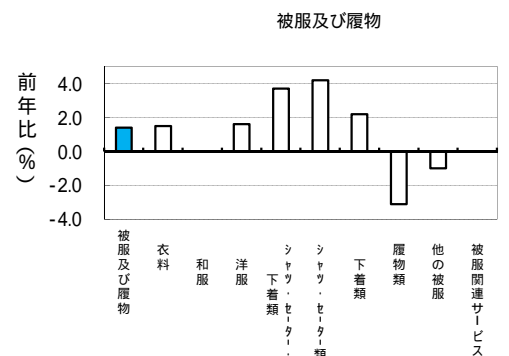
(価格の変動した主な品目)

家庭用耐久財:電気冷蔵庫、電気洗濯機などの値下がり



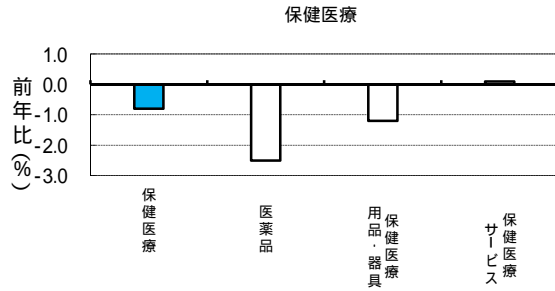
(5)被服及び履物は104.2となり、前年に比べて1.4%の上昇

(中分類)	対前年比(寄与度)
シャツ・セーター・下着類	+3.7%(+0.05)



(6) 保健医療は97.3となり、前年に比べて0.8%の下落

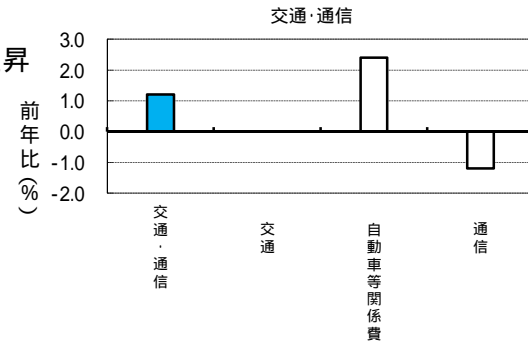
(中分類)	対前年比(寄与度)
医薬品	2.5%(0.02)
保健医療用品・器具	1.2%(0.01)



(7) 交通・通信は103.3となり、前年に比べて1.2%の上昇

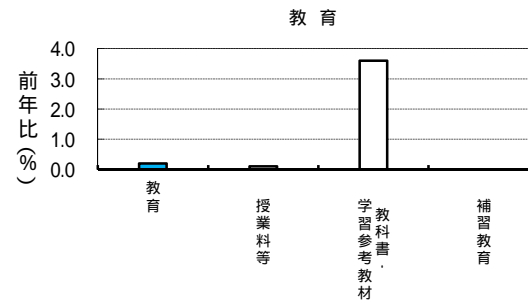
(中分類)	対前年比(寄与度)
自動車等関係費	+2.4%(+0.25)

(価格の変動した主な品目)
自動車関係費: ガソリンなどの値上がり



(8) 教育は96.2となり、前年に比べて0.2%の上昇

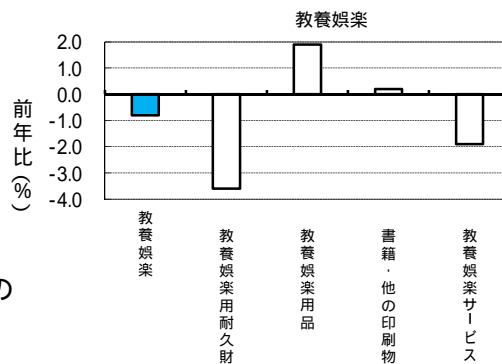
(中分類)	対前年比(寄与度)
教科書・学習参考教材	+3.6%(+0.00)



(9) 教養娯楽は93.2となり前年に比べて0.8%の下落

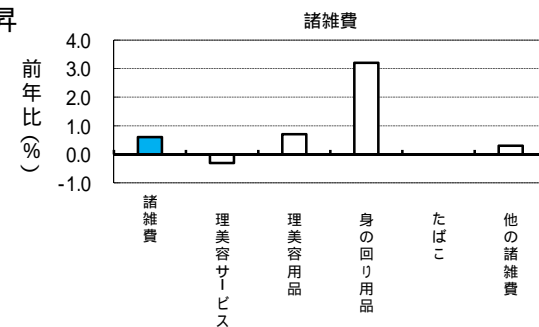
(中分類)	対前年比(寄与度)
教養娯楽サービス	1.9%(0.09)
教養娯楽用耐久財	3.6%(0.03)

(価格の変動した主な品目)
教養娯楽用耐久財: ビデオレコーダー(BD)などの値下がり



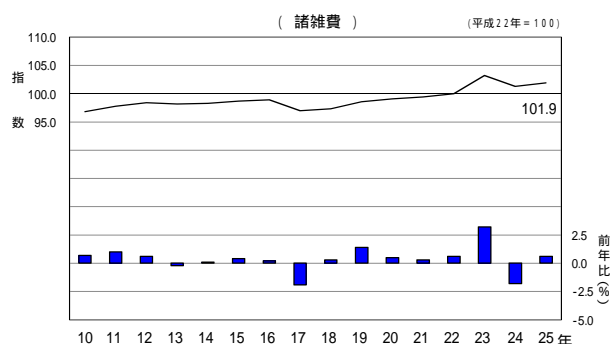
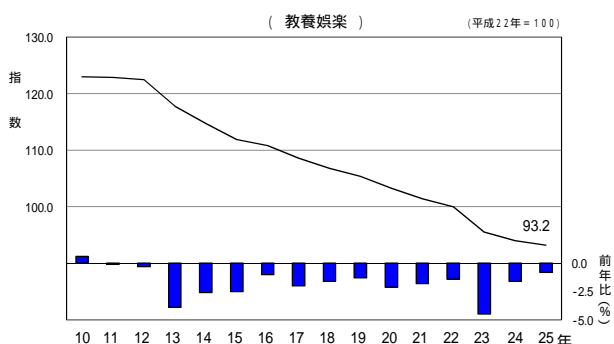
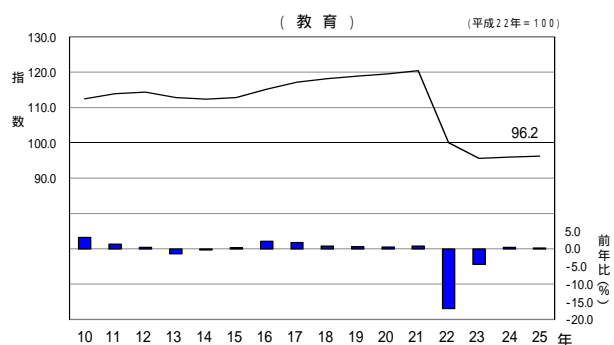
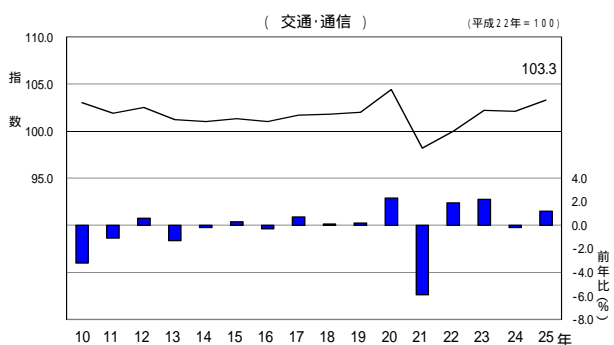
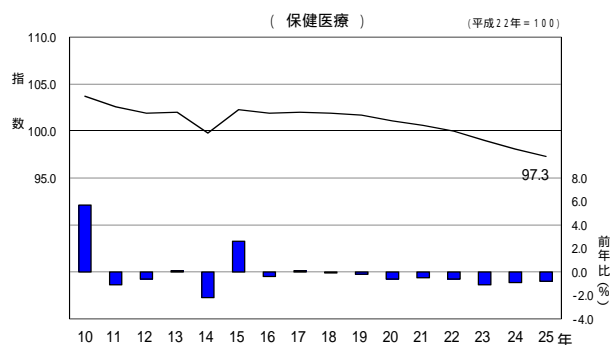
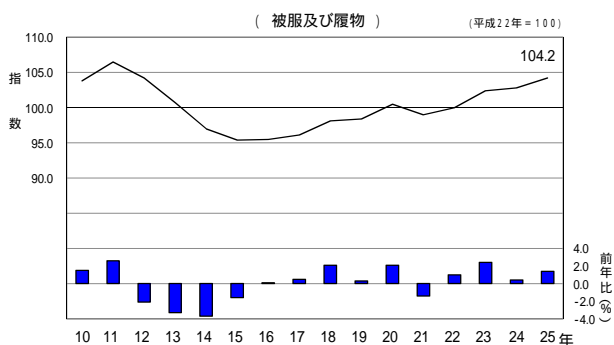
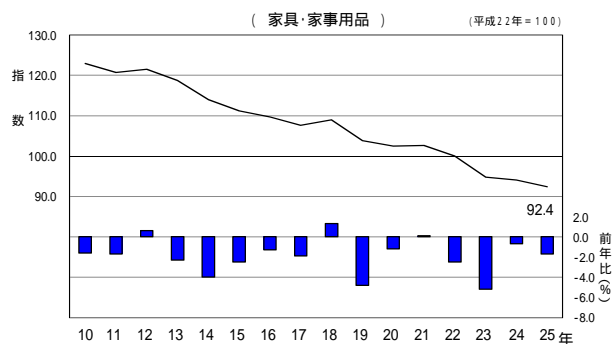
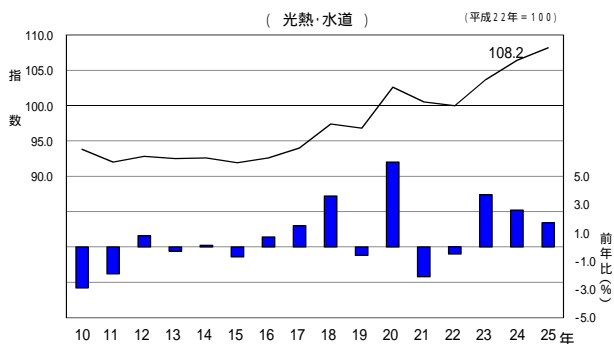
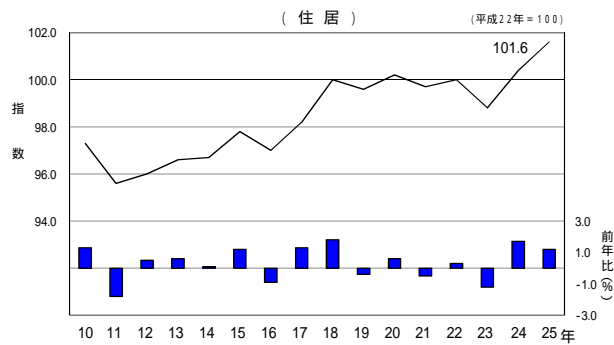
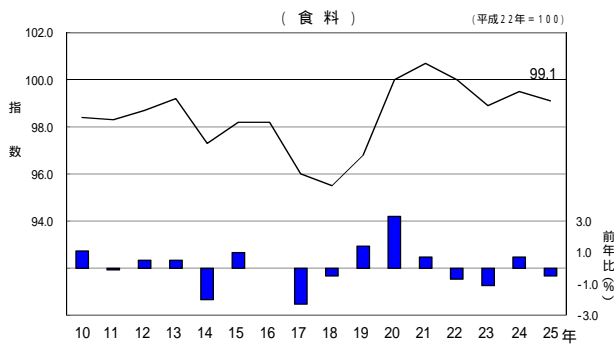
(10) 諸雑費は101.9となり、前年に比べて0.6%の上昇

(中分類)	対前年比(寄与度)
身の回り用品	+3.2%(+0.02)



注: 品目ごとの指数は都市別に公表されていないため、「小売物価統計調査」結果を利用して、単純に価格差が大きかった品目を記載しています。基本銘柄の改正や別品調査などにより単純に価格比較出来ない品目については記載していません。

5 10大費目別指数年次推移グラフ



7 総合指数の推移(全国及び中国5県県庁所在市)

平成22年 = 100

	年 月	松江市		全国		中国4県(県庁所在市)				
		総 合	生鮮食品 を除く総合	総 合	生鮮食品 を除く総合	総 合				
						鳥取市	岡山市	広島市	山口市	
指 数	平成 10 年平均	102.0	102.4	103.7	103.4	103.5	101.8	103.4	104.7	
	11	101.5	102.2	103.4	103.4	103.6	102.0	103.2	104.1	
	12	101.8	102.3	102.7	103.0	103.4	101.6	102.9	103.4	
	13	101.2	101.2	101.9	102.1	103.2	101.3	102.0	102.8	
	14	99.9	100.1	101.0	101.2	102.4	100.1	101.3	101.7	
	15	100.2	100.3	100.7	100.9	101.8	100.0	100.9	101.6	
	16	99.9	100.0	100.7	100.8	101.6	100.2	100.6	101.9	
	17	99.5	99.9	100.4	100.7	101.2	100.1	100.1	101.6	
	18	100.0	100.3	100.7	100.8	100.8	100.5	100.3	101.5	
	19	100.1	100.2	100.7	100.8	100.6	100.8	100.4	100.9	
	20	101.7	102.0	102.1	102.3	102.4	102.5	102.3	102.3	
	21	100.5	100.7	100.7	101.0	101.1	100.8	101.0	100.7	
	22	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	23	99.6	99.8	99.7	99.8	99.8	100.1	100.1	99.4	
	24	100.1	100.2	99.7	99.7	99.9	99.9	99.7	99.2	
	25	100.5	100.7	100.0	100.1	100.1	100.1	99.7	99.2	
	前 年 比	平成 10 年平均	0.4	0.2	0.6	0.3	0.7	0.3	0.2	0.8
		11	-0.5	-0.2	-0.3	0.0	0.1	0.2	-0.2	-0.6
		12	0.3	0.1	-0.7	-0.4	-0.2	-0.4	-0.3	-0.7
		13	-0.6	-1.0	-0.7	-0.8	-0.2	-0.3	-0.9	-0.6
		14	-1.3	-1.1	-0.9	-0.9	-0.8	-1.2	-0.6	-1.0
		15	0.3	0.2	-0.3	-0.3	-0.5	-0.1	-0.4	-0.1
		16	-0.3	-0.3	0.0	-0.1	-0.2	0.2	-0.3	0.3
		17	-0.4	-0.1	-0.3	-0.1	-0.4	-0.1	-0.5	-0.3
		18	0.5	0.4	0.3	0.1	-0.4	0.4	0.2	-0.1
19		0.1	-0.1	0.0	0.0	-0.2	0.3	0.1	-0.6	
20		1.6	1.8	1.4	1.5	1.8	1.7	1.9	1.4	
21		-1.2	-1.3	-1.4	-1.3	-1.3	-1.7	-1.3	-1.6	
22		-0.5	-0.7	-0.7	-1.0	-1.1	-0.8	-1.0	-0.7	
23		-0.4	-0.2	-0.3	-0.3	-0.2	0.1	0.1	-0.6	
24		0.4	0.4	0.0	-0.1	0.1	-0.2	-0.3	-0.2	
25	0.4	0.5	0.4	0.4	0.2	0.2	-0.1	0.0		
平 成 25 年 月 別 指 数	1 月	100.0	99.9	99.3	99.1	99.7	99.4	98.8	98.7	
	2	100.0	100.2	99.2	99.2	99.5	99.4	98.8	98.6	
	3	100.0	100.3	99.4	99.5	99.4	99.6	99.1	98.6	
	4	100.2	100.7	99.7	99.8	99.8	99.8	99.3	98.9	
	5	100.2	100.7	99.8	100.0	99.9	99.9	99.5	99.0	
	6	100.1	100.6	99.8	100.0	99.8	99.9	99.5	98.8	
	7	100.6	100.9	100.0	100.1	100.1	100.2	100.0	99.2	
	8	100.9	101.0	100.3	100.4	100.6	100.5	100.0	99.8	
	9	100.7	101.0	100.6	100.5	100.6	100.7	100.1	99.7	
	10	100.9	100.9	100.7	100.7	100.6	100.7	100.3	99.6	
	11	100.8	100.9	100.8	100.7	100.7	100.7	100.5	99.7	
	12	101.1	101.1	100.9	100.6	100.8	100.6	100.3	99.6	

前年比(変化率)については公表された値(各基準()において計算した値)をそのまま用いています。
 よって、平成22年基準で接続された指数を用いて変化率を再計算すると、必ずしも整合しない場合があります。
 ()各基準 = 平成12年基準、平成17年基準、平成22年基準